

## ② 沿革

<b>大正</b>	13年	3月	大宮町立図書館、大宮小学校内に開館
<b>昭和</b>	44年	6月	与野市公民館図書室開設
	46年	4月	与野市図書館開館
		9月	岩槻市立岩槻図書館開館
	47年	7月	移動図書館「なかよし号」（与野）巡回開始
	48年	2月	大宮市立図書館、高鼻町に新館開館
		7月	移動図書館「ほたる号」（大宮）巡回開始
	49年	1月	浦和市立図書館開館
		4月	移動図書館「しらさぎ号」（浦和）巡回開始
		9月	配本所（東大宮）開室、以下順次開室
	50年	10月	移動図書館「こだま号」（岩槻）巡回開始
	51年	10月	浦和市立図書館中央分館開館（のち北浦和図書館東高砂分館に改称）
	53年	10月	与野市図書館南分館、大戸小学校内に開設
	56年	12月	与野市図書館新館開館
	60年	8月	浦和市立南浦和図書館開館
61年	4月	与野市図書館南分館新館開館	
62年	6月	大宮市立西部図書館開館	
<b>平成</b>	4年	6月	大宮市立東図書館開館
		10月	与野市図書館西分館開館
	5年	3月	移動図書館「なかよし号」廃止
	6年	10月	4市1町（浦和・大宮・上尾・与野・伊奈）広域利用開始
	7年	1月	浦和市図書館、戸田市図書館と相互利用開始
		4月	浦和市図書館、川口市図書館と相互利用開始
	8年	4月	岩槻市立岩槻駅東口図書館開館
	9年	4月	浦和市図書館、蕨市図書館と相互利用開始
		4月	浦和市立東浦和図書館開館
	10年	4月	岩槻市立岩槻東部図書館開館
		6月	大宮市立春野図書館開館
	12年	5月	大宮市立西部図書館三橋分館開館
		7月	大宮市立七里図書館開館
			大宮市立宮原図書館開館
	13年	5月	さいたま市誕生
		11月	さいたま市図書館協議会発足
			さいたま市視聴覚ライブラリー運営委員会発足
	14年	7月	馬宮図書館開館
	16年	7月	桜木図書館開館
	17年	4月	岩槻市編入 岩槻図書館、岩槻駅東口図書館、岩槻東部図書館が 加わり、さいたま市図書館19館に
	17年	7月	桜図書館開館
		3月	移動図書館「こだま号」廃止
18年	4月	3市（川越・春日部・蓮田）広域利用開始	
	5月	片柳図書館開館	
	9月～	アスベスト除去工事（大宮図書館、岩槻図書館、南浦和図書館）	
	11月	移動図書館「ほたる号」廃止、「宝くじ号」巡回開始	
19年	4月	桜図書館大久保東分館開館	
		与野図書館南分館が与野南図書館に昇格	
	9月	北浦和図書館東高砂分館閉館	
	11月	中央図書館開館	
	12月	移動図書館「しらさぎ号」廃止	
	20年	5月	北図書館開館